

2022年7月14日

各 位

会社名 クックビズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 藪ノ 賢次
(コード番号：6558 東証グロース)
問い合わせ先 執行役員 コーポレート本部
エグゼクティブマネージャー 餌取 達彦
(TEL. 06-7777-2133)

「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日公表の「2022年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大による事業環境の悪化により、前事業年度まで2期にわたり営業損失及び営業キャッシュフローのマイナスを計上したことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在する旨を記載するとともに、早期解消に向けて、全社一丸となって経営改善に取り組んでまいりました。

当社は新型コロナウイルス感染症の拡大により不透明な経営状況が続く中、社長直轄の全社横断タスクフォースである CBMI プロジェクトの方針のもと、KPI マネジメントの徹底、新たな収益の柱として、人材支援領域に加えて、経営支援領域および事業再生領域へと事業範囲を拡大させ、構造改革による抜本的なコスト削減による損益分岐点売上高の大幅な引き下げ、業務効率の改善、従業員満足度の改善施策、等を実行した結果、従前、高コスト体質であった収益構造が大幅に改善し、外部環境の好転もあり、2022年第2四半期決算では、営業利益及び当期純利益において、10四半期ぶりに黒字化を達成しております。

また資金面については、エクイティファイナンスの実行及び長期のデットファイナンスの実行により、2022年第2四半期末において、2,118百万円の現金及び現金同等物を有しており、当社の事業規模を勘案しても、当面の事業資金を確保していることから資金繰り上の懸念はありません。

これらの状況から、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象又は状況は現時点において存在しないものと判断し、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消しております。

株主の皆様、取引先をはじめとするステークホルダーの皆様には、大変ご心配をおかけしましたが、今後もさらなる企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

以 上